

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成18年1月5日(2006.1.5)

【公表番号】特表2005-507666(P2005-507666A)

【公表日】平成17年3月24日(2005.3.24)

【年通号数】公開・登録公報2005-012

【出願番号】特願2003-539604(P2003-539604)

【国際特許分類】

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)
A 6 1 K 31/7088 (2006.01)
A 6 1 K 39/395 (2006.01)
A 6 1 K 45/00 (2006.01)
A 6 1 K 48/00 (2006.01)
A 6 1 P 21/00 (2006.01)
A 6 1 P 25/00 (2006.01)
A 6 1 P 25/06 (2006.01)
A 6 1 P 29/00 (2006.01)
A 6 1 P 35/00 (2006.01)
G 0 1 N 33/15 (2006.01)
G 0 1 N 33/50 (2006.01)
C 1 2 N 15/09 (2006.01)
A 6 1 K 38/00 (2006.01)

【F I】

C 1 2 Q	1/02	Z N A
A 6 1 K	31/7088	
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	21/00	
A 6 1 P	25/00	
A 6 1 P	25/06	
A 6 1 P	29/00	
A 6 1 P	35/00	
G 0 1 N	33/15	Z
G 0 1 N	33/50	Z
C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成17年10月24日(2005.10.24)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

i) 配列番号1または配列番号3のヌクレオチド配列を含む核酸に対して少なくとも95

% 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸分子によってコードされるポリペプチド ; および

i i) 配列番号 2 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチド ;

よりなる群から選択されるポリペプチドの活性を変調する化合物の能力を検定し、それにより、疼痛性障害を治療することが可能な化合物を同定することを特徴とする疼痛性障害を治療することが可能な化合物を同定する方法。

【請求項 2】

a) i) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列を含む核酸に対して少なくとも 95 % 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸分子によってコードされるポリペプチド ;

および

i i) 配列番号 2 のアミノ酸配列と少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチド ;

よりなる群から選択されるポリペプチドを発現する細胞をテスト化合物と接触させ ; 次いで

b) ポリペプチドの活性を変調するテスト化合物の能力を検定し、それにより、疼痛のシグナル伝達を調節することが可能な化合物を同定することを特徴とする疼痛シグナリングメカニズムを変調することが可能な化合物を同定する方法。

【請求項 3】

i) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列に対して少なくとも 95 % 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸分子 ; および

i i) 配列番号 2 のアミノ酸配列に対して少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする核酸分子 ;

よりなる群から選択される核酸分子の発現を変調する化合物の能力を検定し、それにより、疼痛性障害を治療することが可能な化合物を同定することを特徴とする疼痛性障害を治療することが可能な化合物を同定する方法。

【請求項 4】

a) i) 配列番号 1 または配列番号 3 のヌクレオチド配列に対して少なくとも 95 % 同一であるヌクレオチド配列を含む核酸分子 ; および

i i) 配列番号 2 のアミノ酸配列に対して少なくとも 95 % 同一であるアミノ酸配列を含むポリペプチドをコードする核酸分子 ;

よりなる群から選択される核酸を発現する細胞をテスト化合物と接触させ ; 次いで、

b) 核酸分子の発現を変調するテスト化合物の能力を検定し、それにより、疼痛のシグナル伝達を変調することが可能な化合物を同定することを特徴とする疼痛シグナリングメカニズムを変調することが可能な化合物を同定する方法。

【請求項 5】

2047 モジュレーターを含むことを特徴とする細胞における疼痛シグナリングメカニズムを変調するための組成物。

【請求項 6】

細胞が脳細胞、ニューロン、または、脊髄もしくは後根神経節に由来する細胞である請求項 2 の方法。

【請求項 7】

2047 モジュレーターが小さな有機分子、ペプチド、抗体、またはアンチセンス核酸分子である請求項 5 の組成物。

【請求項 8】

2047 モジュレーターが 2047 ポリペプチド活性を変調することが可能である請求項 5 の組成物。

【請求項 9】

2047 モジュレーターが小さな有機分子、ペプチド、抗体、またはアンチセンス核酸分子である請求項 8 の組成物。

【請求項 10】

2047モジュレーターが2047核酸発現を変調することが可能である請求項8の組成物。

【請求項 11】

2047モジュレーターを含むことを特徴とする、異常な2047ポリペプチド活性、または異常な2047核酸発現によって特徴付けられる疼痛性障害を有する対象を治療するための組成物。

【請求項 12】

該疼痛性障害が炎症性の疼痛、慢性的疼痛、神経因性疼痛、灼熱痛、線維筋痛、癌疼痛、偏頭痛/頭痛または組織疼痛を含む請求項11の組成物。

【請求項 13】

該2047モジュレーターを医薬上許容される処方にて投与する請求項11の組成物。

【請求項 14】

2047モジュレーターが小さな有機分子、ペプチド、抗体またはアンチセンス核酸分子である請求項11の組成物。

【請求項 15】

2047モジュレーターが2047ポリペプチド活性を調節することができる請求項11の組成物。